



空から見るなめりかわ

昭和今昔写真館



辰野・坪川周辺 昭和50年(1975)



菰原・下島周辺 昭和36年(1961)



中滑川駅周辺 昭和27年(1952)

会期/平成28年4月2日(土)~5月8日(日)

開館時間/午前10時~午後6時 (入場は午後5時30分まで)

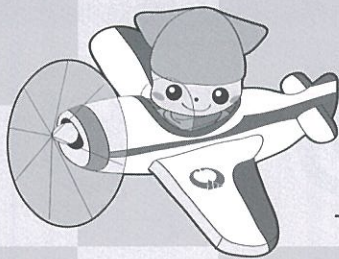
●休館日/月曜日

会場/滑川市立博物館 3階 企画展示室1・2

展示解説...4月3日(日)、4月16日(土)、4月30日(土)、5月4日(祝)、5月8日(日) ※いずれも午後2時~

主催/滑川市教育委員会・滑川市立博物館 後援/Net3

入場
無料



空から見るなめりかわ

昭和今昔写真館

当館では平成25年度に「なめりかわ昭和今昔写真館」を開催し、滑川市が誕生する直前の昭和20年代後半から昭和40年代にかけての「ふるさと滑川」の移り変わりを当時の写真から楽しんでいただきました。本展はその関連企画として、昭和20年代後半から現代までの滑川市域の変貌を航空写真(空中写真)から振り返っていきます。

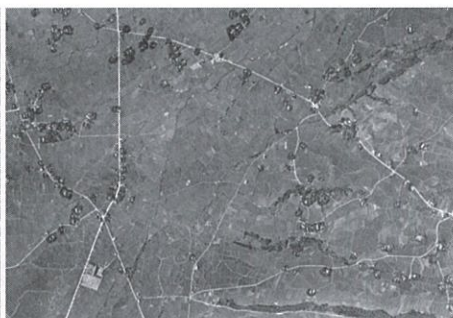
市域を25ヶ所に分割し、国土地理院が公開している昭和20年代後半(1952・1953)・昭和36年(1961)・昭和50年(1975)、現代(2007・2014)に撮影された航空写真から、滑川の移り変わりをご紹介します。

60余年での変貌、また一方で変わらないものなどを、鳥になった気分で眺めていただければ幸いです。



平成26年(2014)

滑川インターチェンジ周辺



昭和36年(1961)



平成19年(2007)

滑川中学校周辺



昭和36年(1961)

※写真はすべて国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」公開画像(<http://www.gsi.go.jp>)を加工して作成

体験コーナー

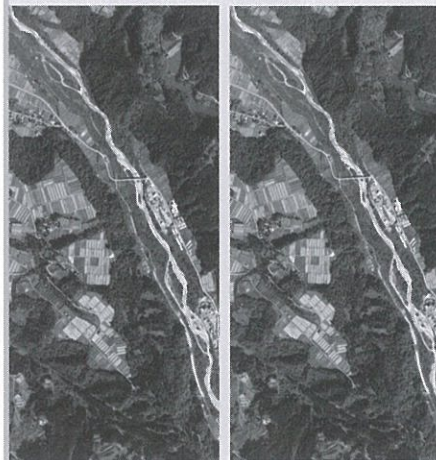
航空写真の立体視に挑戦!!

2枚の航空写真を並べて見ると、まるでジオラマを眺めているような感覚で、地形の高低差や起伏といった立体的な情報が得られることをご存知ですか?ステレオビューアー(実体鏡)という補助器具を使えば、初めての人でも比較的簡単に立体視することができます。

展示会場では、ステレオビューアーとともに、東福寺野台地・室山野台地・大崎野台地といった早月川隆起扇状地(加積山麓階=旧扇状地)を中心とした立体視用の写真を準備しています。

立体視を体験して、滑川の地形を楽しんでみませんか。

立体視写真(平行法用)



上大浦~大日公園周辺 平成26年(2014)

■開館時間/午前10時~午後6時(ただし入館は午後5時30分まで)

■交通のご案内

●公共交通機関/あいの風とやま鉄道(滑川駅)・富山地方鉄道(滑川駅・中滑川駅)からコミュニティバス(のるmy car)(大日・室山ルート)「博物館前」下車すぐ

●コミュニティバス時刻表

滑川駅前	8:55	11:45	14:15	16:45
博物館前	9:17	12:07	14:37	17:07
滑川駅前	10:06	12:56	15:26	17:56

●自動車/北陸自動車道・滑川インターチェンジから約2分
国道8号線・稲泉交差点から約7分

滑川市立博物館

〒936-0835 富山県滑川市開676 TEL/076-474-9200 FAX/076-474-9201
URL/<http://www.city.namerikawa.toyama.jp/museum/index.html>
E-mail/hakubutsukan@city.namerikawa.toyama.jp

